

広報 KASHIBA

かしば

9

2016.9.21
No.591



～中学校給食Vol. 6～

子どもたちに安全安心なおいしい給食を
広陵町・香芝市共同中学校
給食センターが完成しました

今月の表紙



香芝西中学校の給食の一コマ。

9月5日(月)、市内4中学校では、一斉に給食がスタートしました。今月の特集は、子どもたちの給食を作り届ける給食センターについてスポットを当てます。



ひとの動き

—8月末日現在—

人口	78,858人 (前月比+59人)
男	37,816人 (前月比+30人)
女	41,042人 (前月比+29人)
世帯数	30,300世帯 (前月比+42世帯)



香芝検定

certificate examination for KASHIBA

平成28年9月から広陵町・香芝市共同中学校給食センターが稼働し、中学校給食が始まりましたが、香芝市内の小学校の給食は、いつから始まったのでしょうか。

- ① 昭和32年
- ② 昭和36年
- ③ 昭和40年
- ④ 昭和44年

(答えは11ページにあります)

CONTENTS

もくじ



もくじ…………… 2

市政トピックス…………… 3

①香芝市は10月1日に市制25周年を迎えます!

②かしば地域ブランドKASHIBA+第1回認定品決定!

特集…………… 5

～中学校給食Vol. 6～
子どもたちに安全安心なおいしい給食を
広陵町・香芝市共同中学校
給食センターが完成しました

ひと◇まち◇かしば …… 9

○第7回平和を考えるパネル展

○銅剣づくりにチャレンジ

○奈良県消防操法大会

○健康かしば21

○高齢者作品展

イキイキ!香芝っ子…………… 10

祝 全国大会出場!

市民ペンリレー/パパッと簡単クッキング…… 11

市ホームページでも広報かしばをご覧ください。

URL <http://www.city.kashiba.lg.jp>

「録音ボランティア山びこ」による音訊広報があります。

詳しくは社会福祉協議会ボランティアセンターへ。

☎76-7179

次回発行は、おしらせ版 10月5日(水) 広報かしば 10月21日(金)

香芝市は10月1日に 市制25周年を迎えます！

香芝市は、平成3年に市制施行してから平成28年10月1日で25周年を迎えます。
町から市への歴史的な転換から今まで、香芝市が歩んできた道のりを振り返ります。

香芝市ではこんなことがありました！

- 平成3年**
 - 人口53,422人で、県下10番目の市として「香芝市」が誕生
- 平成4年**
 - 市民図書館、二上山博物館、市民ホールの複合施設として「ふたかみ文化センター」オープン
- 平成7年**
 - 旭ヶ丘小学校が開校。市内小学校が現在の10校に
- 平成8年**
 - 尼寺廃寺跡から日本最大級の塔心礎が発見され、金環などが出土
 - 市民まつり「ふれあいフェスタ」が始まる
- 平成9年**
 - 人口が6万人を突破
- 平成10年**
 - 総合福祉センター、かしば・屯鶴峯温泉がオープン
- 平成12年**
 - シルバー人材センターを設立
 - 香芝北中学校開校。市内中学校が現在の4校に
- 平成13年**
 - 新町名「高山台」が誕生
- 平成16年**
 - 今池親水公園がオープン
 - 市制施行10周年を機に市民憲章を制定
 - 香芝市マスコットキャラクター「カッシー」誕生
 - 冬の祭典「冬彩」が始まる
- 平成17年**
 - 新町名「旭ヶ丘一丁目～五丁目」が誕生
- 平成18年**
 - 旭ヶ丘幼稚園開園
- 平成19年**
 - 市営住宅「真美ヶ丘団地」完成
 - 新池親水公園がオープン
- 平成22年**
 - 「香芝市男女共同参画宣言都市」を宣言
- 平成23年**
 - JR志都美駅がリニューアル
- 平成24年**
 - 磯壁北今市線開通
- 平成25年**
 - 「いじめ撲滅のまち」を宣言
 - 新保健センターがオープン
- 平成26年**
 - 移動図書館車「ぶつくる号」による図書館サービスを開始
- 平成27年**
 - カッシーがリニューアル
 - かしば産業展を初開催
- 平成28年**
 - 新町名「すみれ野一丁目、二丁目」が誕生
 - 11月第3土曜日を「香芝市教育の日」と制定
 - 市制施行25周年を記念して香芝市地域振興シンポジウムを開催
 - 中学校給食センター完成。中学校給食が開始

市章



香芝の「カシバ」を図案化したもので、円形にまとめたのは和の精神を表し、両横に張り出した翼の形は将来への発展飛躍を表現しています。

市の木



香芝の野山に多く自生し、昔から人々の生活になじみ深い樫の木。庭木や生け垣として利用され堅く丈夫で大木になり、その健康的な成長ぶりは飛躍発展を続ける香芝市を象徴しています。

市の花



誠実という花言葉をもつすみれは、日本古来より野山に咲く身近な花として愛されてきました。歌人山部赤人も、その可憐な精一杯生きようとする姿が歌っており、香芝市の花として親しまれています。

香芝のシンボルを紹介☆



かしば地域ブランド かしばぷらす

市政トピックス②

PLUS Kashiba+ 認定

第1回認定品決定!

◆問合先 市役所商工振興課 ☎44-3312



工業・工芸品部門

香芝市産学連携促進事業で大阪樟蔭女子大学と開発した合格祈願靴下「ダルマもりソックス」。「ダルマもり」とは、転ばないことで縁起の良い「ダルマ」と「お守り」を掛け合わせた独自の造語。赤いダルマが香芝のシンボル「二上山」から雲に乗って飛んで来て、受験生を応援するために靴下に宿ったという刺繍を施した五本指ソックスです。

ダルマもりソックス
杉山ニット工業



香芝市商工会では、本市の保有する地域資源の付加価値を高め、それをブランド化する中で、香芝市への愛着を向上させるとともに、それを全国に発信する香芝市の地域ブランド「KASHIBA+」を立ち上げました。そして平成28年3月6日～6月21日まで募集を行ったところ、15点の申請がありました。

この申請を受け、6月29日（水）に香芝市地域ブランド認定審査会による厳正な審査を行った結果、食品部門より3点、工業・工芸部門より1点、無形部門より3点の計7点が「KASHIBA+」として認定され、7月13日（水）に認定表彰式が行われました。

食品部門

大和香芝のたまご香るプリン

ピアカウンター
ちょこっと



葉山養鶏場（今泉）の地卵を使用し、一つ一つゆっくり作り上げたプリン。香芝市内で製造された、におい移りのない容器を使用。

かしば香るみそ

香芝ふれあい朝市
実行委員会



香芝産の大豆と米を使った100%香芝産のお味噌。すべて手作りというこだわり。市内の学校給食にも使われるなど、市内にその味が広がっています。

悠久の光

澤田酒造
株式会社



市内の遊休農地の有効活用と地元特産品の創出を目指し、市と地元農家、澤田酒造が連携し作った、香芝産ヒノヒカリ100%使用の純米酒です。

無形部門

かひら
平野地区の香平餅作り

平野自治会



自然を多く残す平野地区。その平野で作られるもち米とイチゴでできたイチゴ大福は、平野のお祭りの一つである「平野大とんど」の中でふるまわれています。

屯鶴峯ものがたり

町づくりを考える会
侃諤倶楽部



履中天皇の皇太子時代、弟の謀反に遭い、大和に逃れるため穴虫峠を越えるとき少女に敵の待ち伏せを教えられ助かったという『古事記』の記事を参考に創作した物語です。

光と音の祭典「冬彩」

冬彩実行委員会



市制10周年を記念し、市民ボランティアによって始まりました。今池親水公園で実施し、多くの人に感動を与え、夢を育む中で「まち」を愛する心へとつなげていきます。

中学校給食センター

スマイル



月 日 ()

日直

カッシー
かぐやちゃん

所在地：広陵町三吉
(広陵町立図書館南側)

延床面積：3,106.40㎡
構造規模：鉄骨造2階建

～中学校給食Vol. 6～



子どもたちに安全安心なおいしい給食を 広陵町・香芝市共同中学校 給食センターが完成しました

◆問合せ 教育部学校教育課 ☎内線441
広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会 ☎55-4951



**9月から
中学校給食スタート!**

「すべては子どもたちのために」を基本理念に、本市では平成24年に「香芝市立中学校給食実施検討委員会」を立ち上げ、中学校給食の実施に向け取り組んできました。平成27年には「広陵町・香芝市共同中学校給食センター協議会」を設立し、広陵町と共同で給食センターを建設・運営していくことを決定しました。同年9月より給食センターの建設が開始し、平成28年8月23日(火)に竣工式が執り行われました。

子どもたちに安全で安心なおいしい給食を届けるため、本センターでは最新の調理機器を備え、徹底した衛生管理を行い、作業導線も考慮した構造となっております。

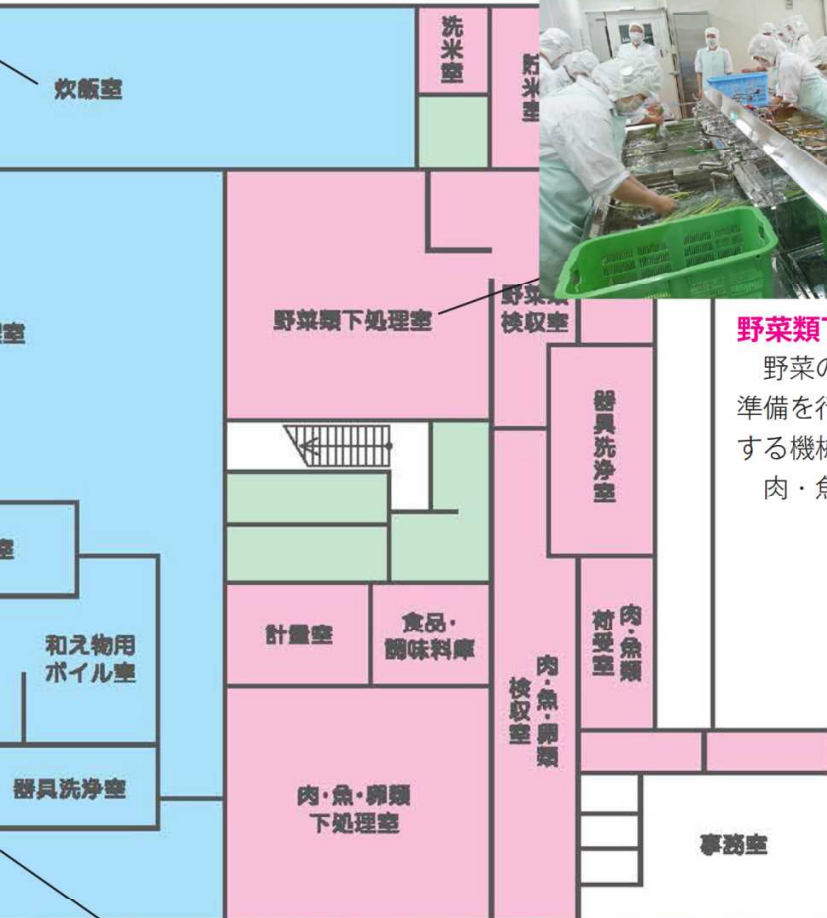
2学期の通常授業が始まる9月5日(月)より、市内4中学校で一斉に中学校給食がスタートしています。



8月23日(火) 竣工式の様子



給食センターってこんなところ



野菜類下処理室

野菜の洗浄、皮むきなど調理前の下準備を行います。自動で野菜をカットする機械もあります。
肉・魚・卵は別室で行います。



2階

- ・見学通路、見学窓
- ・研修室 など

←一般入口



焼物・揚物・蒸物室

揚物を調理するため、コンベヤー式のフライヤーを設置しています。料理の品目に合わせて温度調整を自動で行えます。

Q & A

教えて！

給食センターのいろ

Q・どうやって給食を作るの？

A・給食センターで複数の中学校の給食を一括調理し各中学校へ配送します。また、給食で使用した食器・食缶は給食センターへ回収します。

Q・炊き立てのご飯を食べられるの？

A・炊き立てのおいしいご飯を届けるために、本センターでは、自動炊飯システムを導入して炊飯し、保温性の高い食缶で提供しています。(7ページ上写真参照) このシステムは、県内初となっています。

Q・給食センターの衛生面は？

A・本センターは、学校給食衛生管理基準を遵守するため、HACCP(ハサップ)の概念に則った施設整備となっています。

常に床を乾いた状態に保つ「ドライシステム」を採用しています。このシステムにより湿度の上昇を抑え、食中毒の原因となる細菌の繁殖を防ぎ、水の跳ね返りなどによる二次汚染も防止し、衛生面に配慮した環境となっています。また、汚染作業区域(検収室、食品調味料庫、野菜下処理室、返却された食缶の搬入



炊飯室（炊飯ライン）

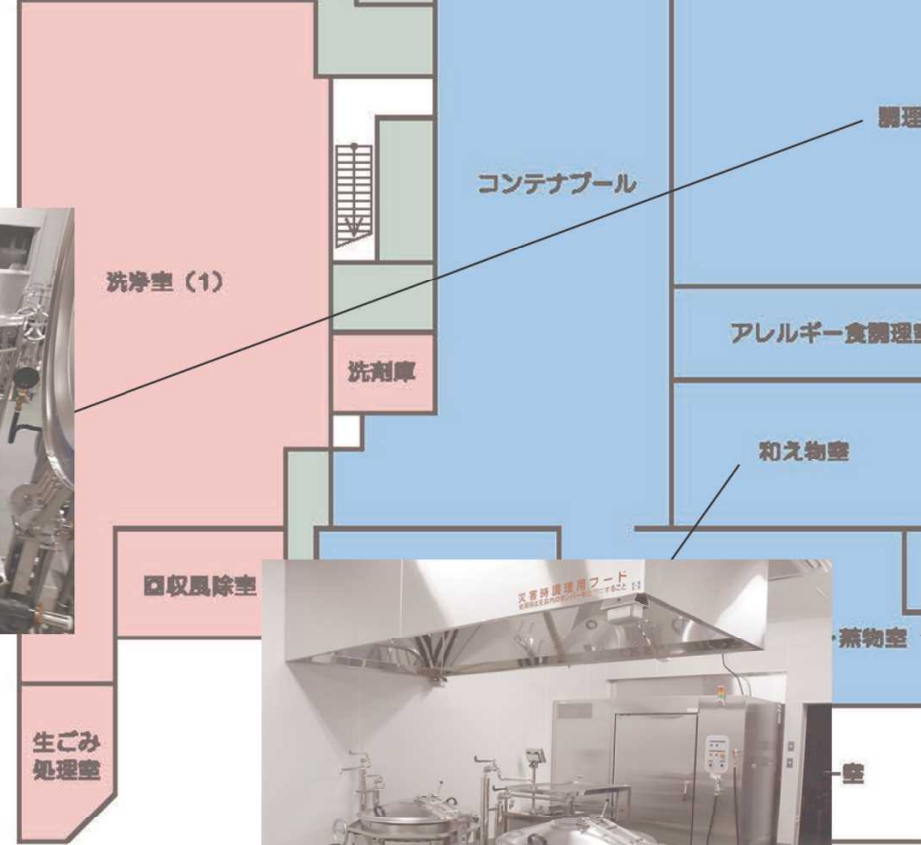
県内初の自動炊飯システム。おいしいご飯を提供します。また、具材をご飯に混ぜ込むこともできます。



調理室

1,000人分調理できる大きな釜で、みそ汁などの汁物や煮物の調理を行います。

できあがった給食を各中学校に配送、食べ終わった食缶などを回収します。



和え物室

下ごしらえした食材を和え、サラダなどを作ります。

災害時の調理機器の機能も備えています。

1日に4,000食分
作れるんだよ!



Q・もし、災害が起こったら？
A・大規模災害発生時の拠点施設となるように、市の災害対策本部と連携し、炊き出し用の器具などの設備を整えています。（7ページ下写真参照）

Q・食物アレルギーへの対応は？
A・他の調理室とは別に設置された食物アレルギーに対応できる専用調理スペースを整備しています。通常食とは別に「除去食」「代替食」の調理を行うなど、可能な限り、安全で安心な学校給食の提供に努めています。

場など）と非汚染作業区域（調理室、コンテナプール、食缶の搬出場所など）を壁などにより明確に区分けし、細菌の流入、飛散を防ぐ構造となっています。また、調理の自動化を行い、ヒューマンエラーの削減に努めています。

Watch

初めての中学校給食。教室の様子を見てみましょう。



第1回目のメニューは
夏野菜カレー



9月5日（月）、4時間目終了のチャイムが鳴ると子どもたちは、一斉に動き出します。写真は、香芝西中学校の給食の様子。給食当番にあたっている子どもたちは、三角巾、エプロン、マスクを着用し、食缶や食器を取りに行きます。そして、各教室で配膳の準備をします。

当番以外の子どもたちは、机を並べ、順番にトレーを持ち、盛り付けられた給食を受け取り、スムーズに準備していきます。「どのくらいの量にする?」「多くいれて」などと楽しい声が響いていました。

そして、教室内の生徒がみんな着席すると、室長（学級委員）が今日のメニューを読み上げ、皆で合唱しました。「これおいしい!」「おかわりしにいこう」などと言いながら中学校での初めての給食をおいしそうに食べていました。

子どもたちの成長のために。

Message



温かくておいしい給食を

本施設は、広陵町との連携で、「人々の思いと最新の技術」をもって完成し、「作る人たちのぬくもりと、温かくておいしい給食」を提供できる施設、『スマイル』と言う愛称で完全給食の実施を行っています。

また最新の調理機器とアレルギー対応やソーラー発電（平成29年3月完成予定）、ガスコージェネレーションシステムによる災害時の調理機能などを備えていることから、稼動後も教育委員会や6中学校と連携し、より充実した運営ができるようにしていきたいと考えています。



広陵町・香芝市共同
中学校給食センター
所長 當麻洋彰



給食を通じて学んでほしい

平成17年に食育基本法が施行され10年が過ぎました。食育とは「生きる上の基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」であり、さまざまな経験や体験を通じて、「食」に関する知識や、「食」を選ぶ力を身に付け、健全な食生活を実践できる人間を育てることと定義されています。

生徒たちには給食を通して、自身で食を選択する力を付けてほしいです。

また、食材のことや給食に携わる人々へも興味を持ってもらえたらと思います。



広陵町・香芝市共同
中学校給食センター
栄養教諭 山本典子

第7回平和を考えるパネル展

8月5日(金)～19日(金)
ふたかみ文化センター・市民図書館

本市では、平成22年より「平和を考えるパネル展」を毎年開催しています。

原爆や戦争被害に関するパネルや核兵器廃絶を目指す「平和首長会議」への加盟証(平成22年2月加盟)などを展示しました。市民図書館では、戦争関連の図書・絵本の特設コーナーを設けました。

過去の悲惨な戦争の教訓から平和の大切さや命の尊さについて改めて考える機会として、多くのかたに閲覧していただきました。



銅剣づくりにチャレンジ

8月19日(金) ふたかみ文化センター

二上山博物館では、夏休みに小・中学生を対象にさまざまな教室を開催しています。今年は、銅剣づくりと勾玉づくりを行いました。

銅剣づくりでは、二上山博物館ボランティアガイドの皆さんに作り方を教えてもらい、子どもたちは「ここはこうするの?」などと話しながら、保護者と協力し銅剣づくりを楽しみました。

完成した銅剣を見て、「すごい!」とうれしそうな表情を浮かべていました。



奈良県消防操法大会

8月23日(火) 天理教北大路乗降場

消防団員が消火活動の技術を披露する第26回奈良県消防操法大会が行われました。この大会は全国で開催されており、奈良県大会には県内20支部の消防団が参加しました。

本市からは134名の消防団員を代表して、第3分団がポンプ車操法の部に出場し、出動から火災鎮火までの一連の動作を団結力ある動きで披露しました。

団員は4月から訓練を重ね、見事準優勝。その表情は達成感でいっぱいでした。



健康かしば21

8月31日(水) 保健センター

「健康かしば21」では、「世代を超えてともに支えあって生きるまちづくり」を目指しています。

同じ立場に近い親子が集まり、悩みなどを共感しあうことで、保護者が余裕のある子育てができるように「発達を促す親子遊びと交流会」を開催しました。

自分の性格を色で表して自分を客観視してみたり、子どもと手遊びをするなどして打ち解けながら、参加者らは互いの悩みを共有し交流しました。



高齢者作品展

9月6日(火)～21日(水) 総合福祉センター

総合福祉センターでは、健康・介護予防相談、かしば・屯鶴峯温泉の無料利用、高齢者作品展の3つのイベントからなるシニア祭を開催しました。

高齢者作品展では、65歳以上のかたにより作成された絵画や書、手芸、写真などが展示されました。作品は非常に細かい細工が施されており、訪れたかたからは「すごい技術だ」「きれい」との声が、あちらこちらで聞かれました。





イキイキ!香芝っ子

市内
中学校

全国大会出場!

市内の中学生アスリート37人が、県大会・近畿大会を勝ち進み全国大会に出場を果たしました。
将来の香芝市を担う若者たちの、今後の活躍が期待されます。



全国中学校ソフトボール大会

香芝北中学校

山本采果さん・宮下和希さん・角田さくらさん・
石橋芽衣さん・安永萌さん・高橋伶奈さん
関口茉那さん・大住優菜さん・豊田詩穂さん・
保田莉奈さん・吉中なつみさん・今西来心さん
田西佑捺さん・高橋舞さん・西本真愛さん・
西川さくらさん・平井凜さん・中山璃香さん

全国中学校 テニス選手権大会



香芝北中学校
硬式テニス
松本祐華さん

全国中学校剣道大会



香芝東中学校

個人
山本清吾君



団体

範國智也君・阪口大洋君・山本清吾君・山本浩輝君
山田隆人君・松本祐磨君・長野元紀君

全国中学校相撲選手権大会



個人

鷺尾友希君



団体

鷺尾友希君・松本一馬君・脇本颯一朗君
染田愛都君・脇田一真君

全日本中学校 陸上競技選手権大会



香芝中学校

男子4×100mリレー

鎌田祐輝君・塩田響君・下村嶺弥君・城ヶ崎崇君
立岡愛都君・渡邊真君



「幸せホルモン」で元氣と健康増進!

中村 信夫さん

日常生活で「幸せホルモン」を出すように「ついでにできること」を心がけています。

「幸せホルモン」という言葉は、数年前に、現在100歳を過ぎてなお現役で活躍されている東京聖路加病院名誉病院長日野原先生と作家瀬戸内寂聴さん（現在94歳）の対談集で知りました。おふたりとも高齢を感じさせない、超人的な活躍をされています。

「幸せホルモン」には2つあり、その分泌が、健康で元気に生活するのに大きな役割を果たしていることが医学的にも証明されているそうです。

「楽しいことをする、おいしいものを食べる」など、自分が満足することを出てくるホルモンが「セロトニン」。もう一つは「オキシトシン」です。このオキシトシンは「人の役に立つこと、喜ばれること、感謝されること」などをすることで分泌されます。この2つをバランスよく分泌させることがポイントだそうです。

自分や家族のことだけでなく、地域活動やボランティア活動、人に感謝されること、喜ばれることを実践している人は、総じて元氣ではつらつとされています。

朝夕の散歩のときに、見知らぬ人にも明るく声をかける、ごみを拾う、危険なことをしている子どもがいれば「教えてあげる」など、自分の健康や楽しみのためにしている活動に「ついでにできること」を付加することで、簡単に2つの「幸せホルモン」が分泌されます。そして、その活動が「安心・安全・快適な香芝市」につながっていく、「一石二鳥」になると思います。



今回は多田さんにリレーします。

パパッと簡単クッキング!

甘辛だれで
おいしいですよ☆

No. 18



ご飯だんごのみたらし風

(1人分135kcal)

【材料(4本分)】

ご飯(熱いもの) … 150g (A) みりん… 小さじ1
強力粉 … 40~50g さとう… 大さじ3
本くず粉… 小さじ2 しょうゆ… 小さじ2
昆布だし汁… 50ml

【作り方】

- ① ご飯は、すりこぎでつぶし、強力粉を加えてなめらかになるまでこね、16等分してだんご状に丸める。
- ② 本くず粉は、昆布だし汁少量で溶いてから残りの昆布だし汁と(A)を加えて混ぜ、小鍋に入れてぶつぶつと泡が出るまで、焦げないようにかき混ぜながら煮つめる。
- ③ ①を熱湯でゆで、浮き上がってきたら取り出して、水気をとり串に4個ずつ刺し、③が温かいうちに②のタレをからめればできあがり☆

* レシピ協力：香芝市食生活改善推進員協議会

香芝検定のこたえ ①

昭和32年11月に五位堂小学校で給食が開始されたのが市内の小学校では一番早く、昭和33年4月に下田小学校、昭和34年9月に志都美小学校、昭和35年10月に二上小学校で、それぞれ給食室が完成し、実施されました。

いよいよ10月から/ コミュニティバスの運行を開始します

現在の公共バスは10月1日よりコミュニティバスとして新たに運行を開始します。

◆運賃について

大人100円、小学生50円、小学生未満は無料(1乗車につき)

* 詳しくは、市ホームページまたは、9月5日(月)に発行しました広報かしばお知らせ版9月号の折り込み時刻表をご覧ください。



◆問合先 市役所生活安全課
☎内線123

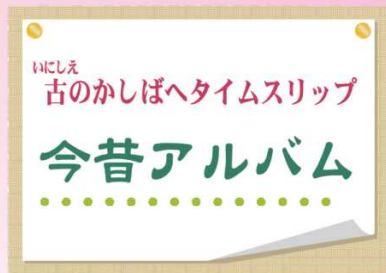
時代の流れとともに移り変わるまち並みや、時を超えて受け継がれてきた変わらぬ風景など、古い写真を随時募集しています。皆さまのご提供をお待ちしています。

詳しくは、市役所秘書広報課まで問い合わせください。

☎ 76-2001 (内線304)



現在の様子



鎌田交差点より
北西を望む

昭和46年
(1971年)



畑山さん(下田西)提供写真

広告

広告

広告

広告